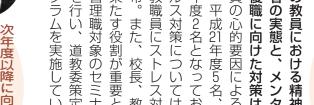


教員のメンタルヘルス 対策の推進について

ス対策・復職に向けた対策は。 よる休職者の実態と、メンタルヘル 当市の教員における精神疾患に

3名、23年度2名となっており、メ 管理職の果たす役割が重要となるこ 冊子を配布。また、校長、教頭など の実態は、平成21年度5名、22年度 復帰プログラムを実施している。 参加促進を行い、道教委策定の職場 とから、管理職対象のセミナーへの 麥として教職員にストレス対処法の ンタルヘルス対策については、市教 教職員の心的要因による休職者





次年度以降に向けての

各方針を問う 直 樹

の4項目について質問。 政・防災防犯・人口問題・行政改革 市内各事業の活性化への方針は 市の将来ビジョン」に関し、 財

交番減少に伴う行政の対策は。 地域と協力し新犯罪も含め対応

優先順位に従い早期かつ確実に

する。 移住対策の方針は。

ージを整備する。 30日以上の滞在観光やホームペ

行政改革のうち人材活用や教育は

外部講師による職員教育を行う。 退職者活用や若手職員の幹部登

保育所の

米田 民営化について 登美子

階における状況を伺う。 え方や事前準備についてなど、現段 保育所の民営化に当たっての考

考え、集約などを含めた検討も必要 と考える。 あり方は、少子化が進行した場合を を検討委員会と位置づけし、施設の 「次世代育成支援推進協議会」

育などは変わらないと考える。 充実を基本としているので、特別保 これまでの保育の継承とさらなる

補正予算審 査

佐々木 久美子

えるという点で効果的なのでは。 により、多くの事業所に仕事の機会を与 レミアム率を20%から10%に下げること プレミアム建設券発行事業で、

にとってはインパクトがあると考える。 現時点では20%とした方が、消費者

山 田

のは、 事完了としたいと考えている。 べきと思うがどうか? 連の補正予算は、平成23年度中に執行す 平成23年度中に発注・契約できるも 市内の経済状況を考えると、 繰越明許費として平成24年度に丁 、建設関

システムが稼働するのかただした。 今後いつごろ整備事業が実施され、 23年4月から落雷により作動しておらず し、1年以上も市民の安全を確保できな 平成24年6月ころに稼働との回答に対 最終処分場漏水検知システムが、平成

松 Щ 男

い状況はあるべきではないと訴えた。

今後のハード面における公共事業の計画 対象事業の発注について資料請求し、 限度額などをただし、新たな視点と手法 策定や公共事業枠の設定、②起債可能な による財政運営の必要性を訴えた。 ない経済対策に当たり、市債償還計画と 公共事業など早期発注による切れ目の

井 行

ていただけるよう取り組んでいく。 少なくとも前回を上回る事業者に参加. ったので、購入者の利便性を考えると、 参加事業者募集の目標設定について質問 管前回の参加事業者数が79事業者であ 彎 今回のプレミアム建設券発行に際し、

るだけ早期に完了させるという国の目標 設の耐震化は、平成27年度末までのでき 化・改修事業費が追加されたが、学校施 された学校施設環境改善交付金を活用し 幌別小学校と西陵中学校の体育館の耐震 国の平成23年度第3次補正予算で措置 現状と今後の計画を確認した。

れたことは何か。 前回の反省点や課題により、今回改善さ **愛** プレミアム建設券発行事業について

加料の廃止、手数料の減額などを変更し 会で協議を進める。 た。また、参加企業への周知、説明会な どの開催方法については、今後実行委員 販売額の増額、 利用期間の延長、

辻 弘之

学校での取替工事費が提案された。 ま放置されていた問題に関して、青葉 市内各学校の非常階段が老朽化したま

の学校での対策が終了することになる。 おり、青葉小学校の改善により、すべて の屋外避難階段の整備・改修が行われて これまでに、鷲別中学校と登別中学校

I 倶二雄

が明らかになった。また、漏水検知シス のあり方について課題があることが判明 テムの復旧時期や今後の対応、 いて、今回の質疑により事実関係や現状 最終処分場漏水検知システム整備につ 情報提供

平成23年第4回臨時会

審議しました。 託料」に関する一般会計補正予算について 平成23年第4回臨時会が12月28日に開催 「消防救急デジタル無線実施設計委

可決しました。 が少なくなることがわかり、原案のとおり る資料を要求し、検証の結果、当市の負担 利なものなのかを判断するため、比較でき 今回の補正予算が当市にとっていかに有